

第301回コンクリートセミナー

コンクリート構造物の高耐久化と高延命化を目指して

—丈夫で美しく長持ち、人のためのコンクリートとして—

主催 社団法人セメント協会

後援 土木学会関西支部 日本建築学会近畿支部 日本材料学会関西支部 日本コンクリート工学会近畿支部 日本建設業連合会関西支部 建設コンサルタント協会近畿支部 プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部 全国建設業協会 全国生コンクリート工業組合連合会

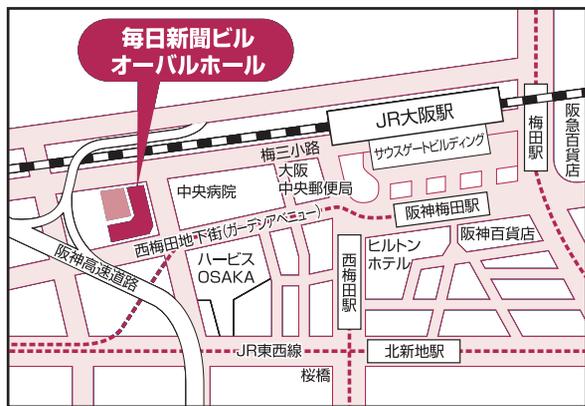
趣旨 近年、コンクリート構造物の命題である高耐久化と高延命化に必要なものは何か。コンクリートの製造から施工、維持管理、補修・補強、検査技術など広範にわたる領域を第一線で活躍する技術者・研究者5氏に今後のシナリオとともに語ってもらう。参加者各位には実務に直結した知識をぜひとも持ち帰っていただき明日からの業務に役立てていただきたい。

- 日時 2012年3月6日(火) 10:00～16:40
- 場所 毎日新聞ビル オーバルホール
[〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5]
- 定員 200名(定員になり次第締切らせていただきます)
- 受講料 1名あたり 10,000円(テキスト代を含みます)
- 申込先 受講ご希望の方は、2012年2月28日(火)までに、

- ① 受講申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXで下記へお申込ください。
 - ② 受講料は、「郵便振替」(加入者名): 社団法人セメント協会、口座番号: 00170-9-196803)にお振込みください。
 - ①②を確認のうえ、受講券を送付させていただきます。
- なお、お申込みされた後にご欠席の場合、セミナー終了後にテキストを郵送致します。
また、銀行振込希望の方は、下記宛ご連絡下さい。

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-4
社団法人セメント協会 普及部門
TEL:03-5200-5060 FAX:03-5200-5062

●本セミナーは「土木学会認定CPDプログラム」です。



- JR大阪駅「桜橋口」から8分
- JR環状線福島駅から5分
- 阪神梅田駅から5分
- 地下鉄西梅田駅から5分

講演

[プロローグ] 丈夫で美しく長持ち、人のためのコンクリートとして

10:00～10:20

京都大学大学院 工学研究科 教授 宮川豊章氏

1

建築物の維持管理 その実情と課題、乾燥収縮問題の話題とともに

10:20～11:20

既存の建築物ストックを有効活用しなければならない時代になってきた。建築学会では2014年刊行を目指し「改修工事標準仕様書」の制作業に着手したところであるが、既存建築物の品質や維持状態は管理母体によって千差万別であるため、整理すべき事項が複雑である。本講演では、公営住宅の維持・改修の実状や課題及び改善計画を紹介する。また、コンクリートの乾燥収縮問題に関わり、近畿圏の生コン製造者や施工者らの取り組みを紹介する。

キーワード: 建築物ストック、改修工事、維持管理、公営住宅、乾燥収縮

(財)日本建築総合試験所 試験研究センター 材料部 部長 永山勝氏

2

収まらないアルカリ骨材反応 何が足りないのか?

11:30～12:30

最近の研究や世界動向を考えると、現在の抑制対策には不備があり、是正が必要な時期に来ている。化学法やモルタルバー法では反応性が評価できない遅延膨張性の骨材が存在し、アルカリ総量規制 3kg/m³ 以下でも膨張するリスクがある。さらにフライアッシュや高炉スラグによる抑制が従来の添加量では不十分となる条件も見出されている。ここでは、アルカリ骨材反応の根本的対策と劣化構造物とどう向き合っていくべきかについて、最新情報を含めて再検証する。

キーワード: アルカリ骨材反応、抑制対策の限界、化学法、モルタルバー法、岩石学的診断

(株)太平洋コンサルタント 営業推進部 副部長 山田一夫氏

3

構造物診断のための非破壊検査技術の現状・今後の展開

13:20～14:20

コンクリート構造物の長寿命化を実現するうえで、適切なタイミングでの的確な診断と対策が不可欠である。診断において構造物の現状を十分に把握するためには、目視観察に加えて何らかの非破壊試験を併用することが有効である。ここでは、我が国における非破壊試験技術の最新の開発動向や規格・規準等の整備状況を紹介し、今後に向けた課題などについて展望を述べる。

キーワード: コンクリート構造物、診断、非破壊試験、規格・規準、技術者資格認証

大阪大学大学院 工学研究科 教授 鎌田敏郎氏

4

[事例紹介] 阪神高速における高延命化への取り組み

14:30～15:30

維持管理はルーチンワークではない。維持管理の現場は常在戦場で、常に新しい課題が発生している。膨大な高架橋の点検資料は、損傷の傾向が常に変化していることを証明している。変化し続ける維持管理の環境のなかで、都市高速道路を安全・安心・快適な状態にいかにつづかせる? 阪神高速における取り組みを紹介する。

キーワード: 都市高速、維持管理、損傷、高延命化、長寿命化、効率化

阪神高速道路(株) 保全技術課 課長 足立幸郎氏

5

[事例紹介] JR西日本における高延命化への取り組み

15:40～16:40

戦後の高度経済成長期に建設されたコンクリート構造物は、早期劣化に係わる様々な課題を抱えている。山陽新幹線コンクリート構造物に対するこれまでの維持管理の取り組みと現状の課題を示し、社会基盤施設として重要な役割を果たしている山陽新幹線を将来にわたって健全な形で供用していくための予防保全の取り組みを紹介する。

キーワード: 山陽新幹線コンクリート構造物、早期劣化、維持管理、予防保全

西日本旅客鉄道(株) 技術理事 構造技術室長 松田好史氏

第301回 コンクリートセミナー受講申込書

●セメント協会普及部門宛(FAX. 03-5200-5062)にお送りください。

申込日 月 日

勤務先 TEL. - -
FAX. - -

業種 官公庁 建設業 コンサルタント 生コン コンクリート製品
混和剤 学校 セメント その他()

住所 〒

受講者(連名可)

●業種は該当する□の中に✓印をつけてください。電話番号・郵便番号も必ずご記入ください。

受講券在中

□□□-□□□□

都道府県 区町市郡

殿

●勤務先等も必ずご記入ください。

右の欄は、受講券等をお送りするための宛名として、当方で切り取って封筒に貼付いたしますので、楷書でご記入ください。